

10.4 鬼北町多世代交流施設「チカナガぷらっとホーム」落成式



鬼北町が、高校を核とした地域活性化の拠点として、県外高校生、地域住民、小中学生の交流、レクリエーション活動、イベントなどを通して、幅広い世代が集い、学べる「鬼北町多世代交流施設 チカナガぷらっとホーム」を整備され、10月4日に落成式が行われました。翌5日には、12名の1年生が、入寮しました。記念写真には北辰寮の2・3年生も入っています。

～さまざまな世代のみなさんが「ぷらっと」立ち寄れる、そんな施設を目指して～

同窓会としても、この施設の完成を心待ちにしておりましたが、今後「多世代交流施設」の効果的な活用を目指して、「できることからはじめよう」と計画中です。

なお、この施設にも、諸先輩方が植林作業で育てて頂いた学校林の木材が活用されています。

北宇和高校学校林の利用

北宇和高校では、昭和20-30年頃に植林された学校林(ヒノキ)を、長年にわたり管理していました。植林・下刈り、枝打ちなど、これまでの管理に携わったのは北宇和高校の生徒たちです。令和4年度の北宇和高校教育寮の建設に当たり、愛媛県教育委員会のご理解とご協力を賜り、県と締結している学校部分林契約(47,801㎡)を解除の上、木材の無償譲渡を受け建築材に利用しました。

今回整備した多世代交流施設の内装材にも、学校林のヒノキを活用し、木の香り漂う温かみのある施設となっております。これまで長年にわたり学校林を守り育てていただいた北宇和高校OBの皆様へ深く感謝を申し上げます。※施設のパンフレットより抜粋



写真データは鬼北町より提供を受けました。